

タントのエアコンシステム故障診断（パネルダイアグノーシスによる点検）要領 （型式L375,385系）

1. パネルダイアグノーシスによる点検（インジケータチェック）

a. イグニッションスイッチをOFFにします。

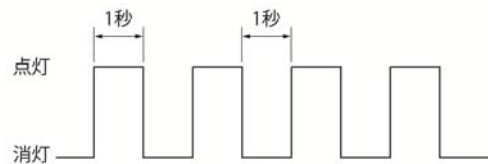
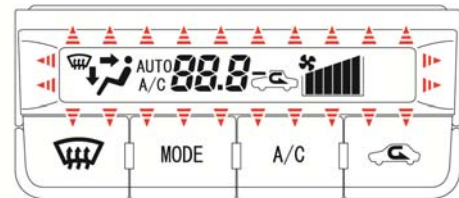
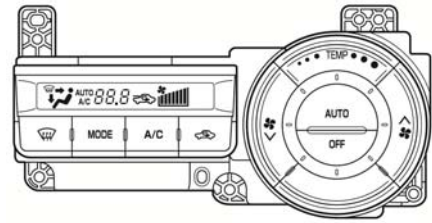
b. コントロールパネルの「AUTO」スイッチと「デフロスタ」スイッチを同時に押しながら、イグニッションスイッチを「ON」します。

c. 1秒間隔で全インジケータおよび設定表示部が点灯、消灯を4回繰り返すことを確認します。

□ 参考 □

・インジケータチェック終了後、自動的にセンサチェックが行われます。

d. パネルダイアグノーシスを終了する場合は、コントロールパネルの「OFF」スイッチを押します。



2. パネルダイアグノーシスによる点検（センサチェック）

a. インジケータチェックを行います。

b. 設定温度表示部に表示されたセンサチェックの結果を確認します。

□ 参考 □

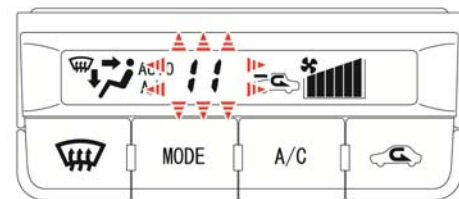
・図はコード「11」が出力された場合を示します。

・異常コードが2項目以上ある場合は、コード番号の小さい順に表示されます。

c. 異常コードが2項目以上あり、読み取りにくい場合は、「MODE」スイッチを押し、コードを固定表示（ステップ作動）させて読み取ります。

d. センサチェックコードが出力された場合は、ダイアグノーシスコード一覧からコードを読み取ります。

e. パネルダイアグノーシスを終了する場合は、コントロールパネルの「OFF」スイッチを押します。




3. ダイアグノーシスコード消去

a. ダイアグノーシスコードは不具合が解消された場合、自動的に消去されます。

ダイアグノーシスコード一覧表

コード No. LCD	ウォーニング表示 (有：○、無：×)	コード記録 (有：○、無：×)	診断内容
00	×	×	正常
11	×	×	内気センサ系統異常
21	×	×	日射センサ系統異常
41	×	×	エアミックストア切り替え用サーボモータ系統異常
43	×	×	モードドア切り替え用サーボモータ系統異常
99	×	×	CAN 通信系統異常

 ・暗い場所で診断を行うと、日射センサ系統の異常が検出される恐れがある為、明るい場所で診断を行って下さい。